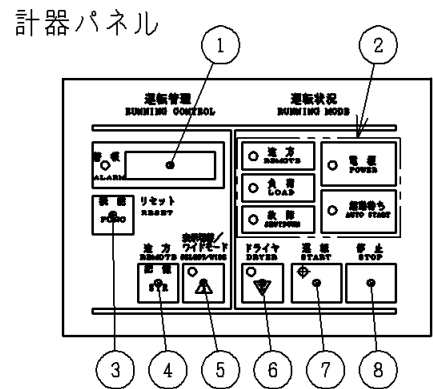
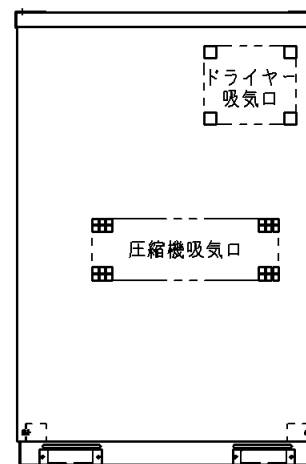
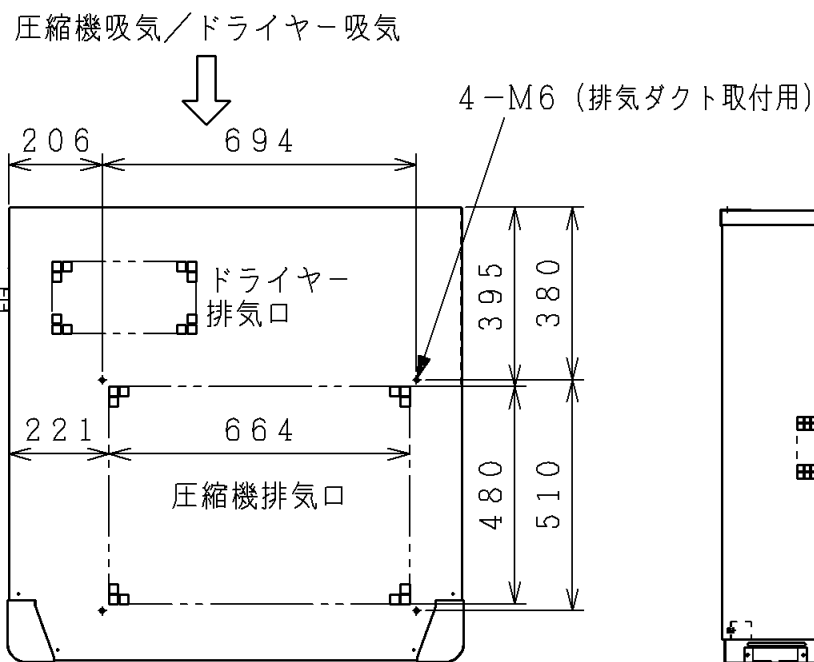


349S10031



記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理 (デジタルモニター)	5	表示切替/ワイドモードスイッチ
2	運転状況	6	表示切替/ドライヤースイッチ
3	リセットスイッチ	7	運転スイッチ
4	遠方設定スイッチ	8	停止スイッチ



【背面図】

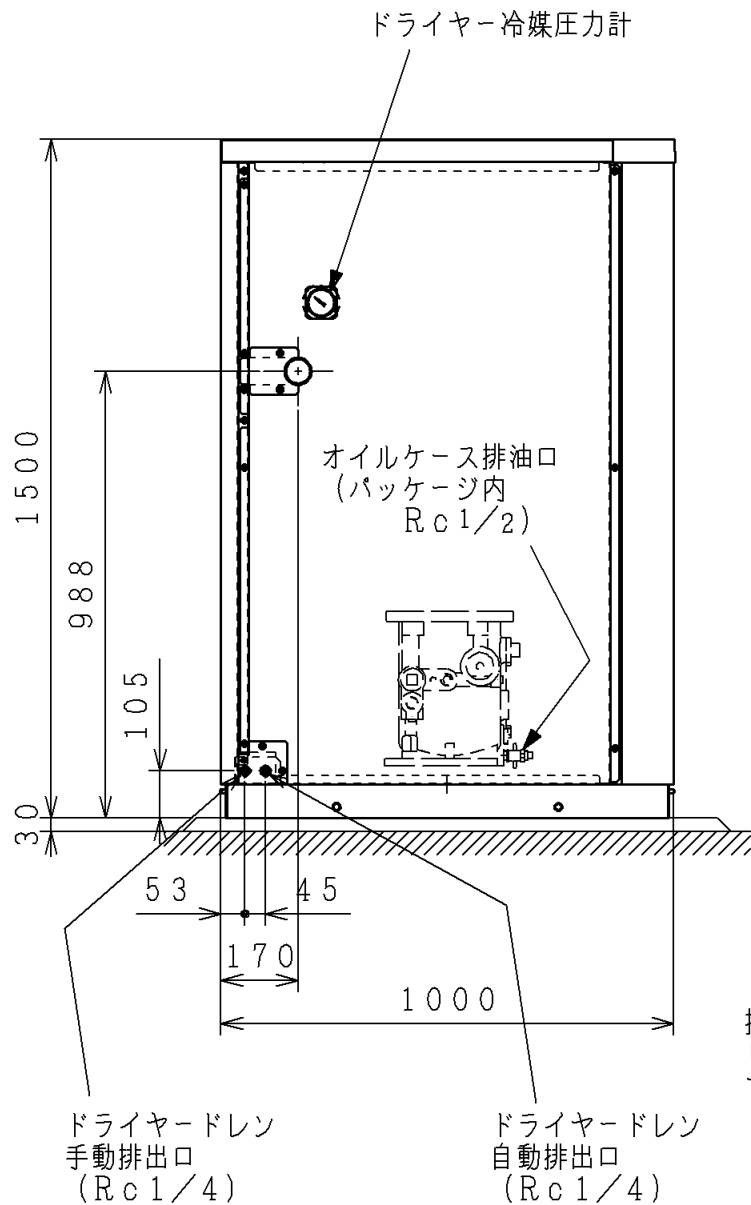
仕様

型式	OSP-19M5ARNK	OSP-19M6ARNK
吐出し圧力【ゲージ圧力】 <sup>(1)</sup>	MPa	1.35
吐出し空気量 <sup>(2)</sup>	m <sup>3</sup> /min	1.85
露点気温度	℃	5~40
主モーター公称出力	kW	18.5【全閉外扇】
ファンモーター出力	kW	0.75【全閉】
電源電圧	V	展開接続図参照
電源周波数	Hz	50 60
必要換気風量	m <sup>3</sup> /min	233
電源トランス容量 (kVA)	200V級	50以上
	400V級	50以上
電源ケーブル太さ (mm <sup>2</sup> )	200V級	38以上 最大 50 <sup>(3)</sup>
	400V級	14以上 最大 50 <sup>(3)</sup>
ドライヤー出口露点 <sup>(4)</sup>	℃	10 (圧力下)
冷凍機公称出力	kW	0.5
質量	kg	620
推奨空気層容量	m <sup>3</sup>	0.45

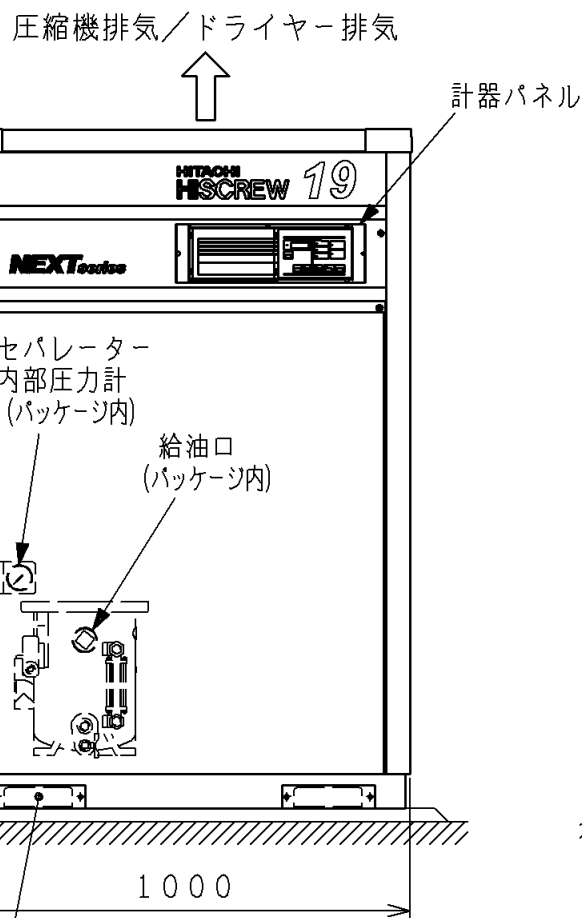
- 注1. サクシオンアンロード全閉時の吐出し圧力は1.4MPaです。  
 注2. 吐出し空気量は、圧縮機吸込み状態に換算した値です。吐出し空気量の保証値については別途ご契約ください。  
 注3. 配線長さが10m以下の値です。10mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、中継端子等により圧縮機側では最大値以下になるようにしてください。  
 注4. 出口露点は周囲温度30℃の条件における値です。

ご注意

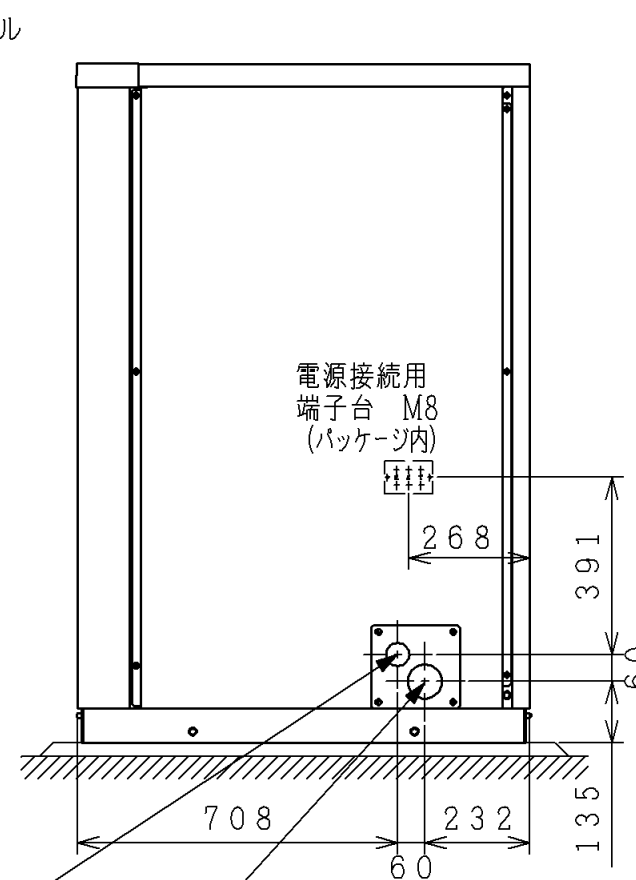
- 本機は空冷機ですので、狭い建屋に据付けますと、露点気温度が上昇します。露点気温度が40℃を越える場合は、圧縮機1台あたり表の換気風量以上の換気扇を取付けてください。
- 据付時は、別図面【据付・配管上のご注意】に示すメンテナンススペースと、吸気口から熱気、塵埃が入らないよう考慮して、据付位置を決めてください。
- 圧縮機は、床面が平滑な所に水平に据付けてください。
- 基礎工事を実施してください。基礎への取付けは、別図面【基礎ボルト位置図】をご参照ください。必ず基礎ボルトで固定してください。
- 破線部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮空気が冷却されますと、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
- 始動盤には、漏電遮断器 (ELB) は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、ELBは日立製をご使用ください。
- 必ず“アース”を取付けてください。接続口は始動盤内にあります。アース線の太さは22mm<sup>2</sup>、接地工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
- 電源配線を立上げる場合は圧縮機右側面のカバーが分解できるように500mm以上離してから立上げてください。
- 必ず屋内に据付けてください。



据付け完了後4ヶ所のフォークリフト運搬用穴を付属の防音板で塞いでください。



電源接続口φ75 (ゴムブッシュ付) 圧縮機の電源引き込みは配線が剥き出しにならないよう、電線管にて施工してください。また、始動盤内配線施工時は、配線通過穴部に必ず保護ブッシュを設け、配線を保護するようにしてください。



記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
来歴				

備考	品名	投影法	尺度
	HISCREW NEXT	第一角法	NTS
	OSP-19MARNK 据付図		
製図 (カド.ト)	2011-03-22	株式会社	清水図章
審査 カミヤ.ユ	2011-03-24	日立産機システム	校審 訂正 入庫
承認 カミヤ.ユ	2011-03-24	349S10031	2011-03-24